

伊豆大島

○概況（平成 14 年 11 月）

火山活動は、落ち着いた状態が続きました。

7日に一時的に地震が多発しました。火山性微動は、観測されませんでした。地殻変動の観測では、2002年6月頃から膨張傾向が見られます。噴煙は観測されませんでした。

○地震活動の状況

7日に島内東部の深さ約2～4kmを震源とする地震が一時的に多発しましたが、地震の多い状態は1日で収まりました。これらの地震は、2002年6月、7月に多発した地震よりもさらに規模が小さく、震度1以上を観測したものではありませんでした（図2）。その後は1日当たり0～5回の落ち着いた状態が続きました（表1、図1～5）。

火山性微動は、観測されませんでした。

表1 火山性地震日別回数表（伊豆大島）

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	旬計	
	0	2	1	1	0	1	44	4	0	1	54	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	旬計	
	0	3	0	1	1	0	0	0	5	0	10	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	旬計	月計
	5	1	0	0	0	0	1	0	0	0	7	71

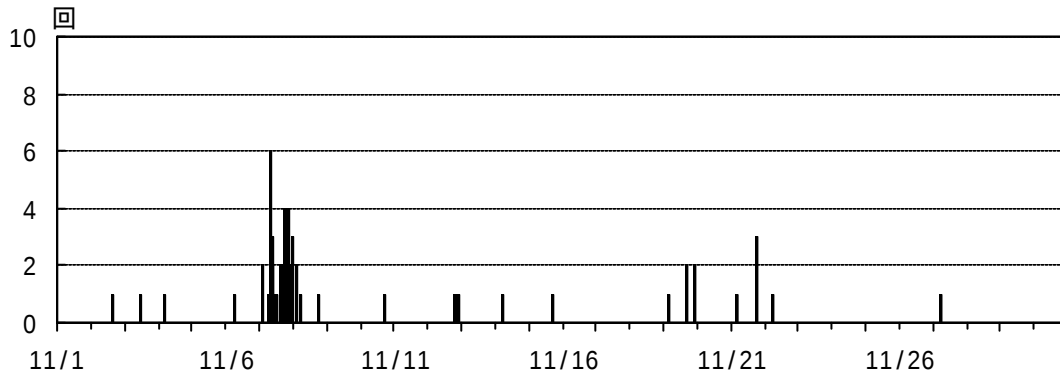


図1 伊豆大島 火山性地震時間別回数（2002年11月1日～11月30日）

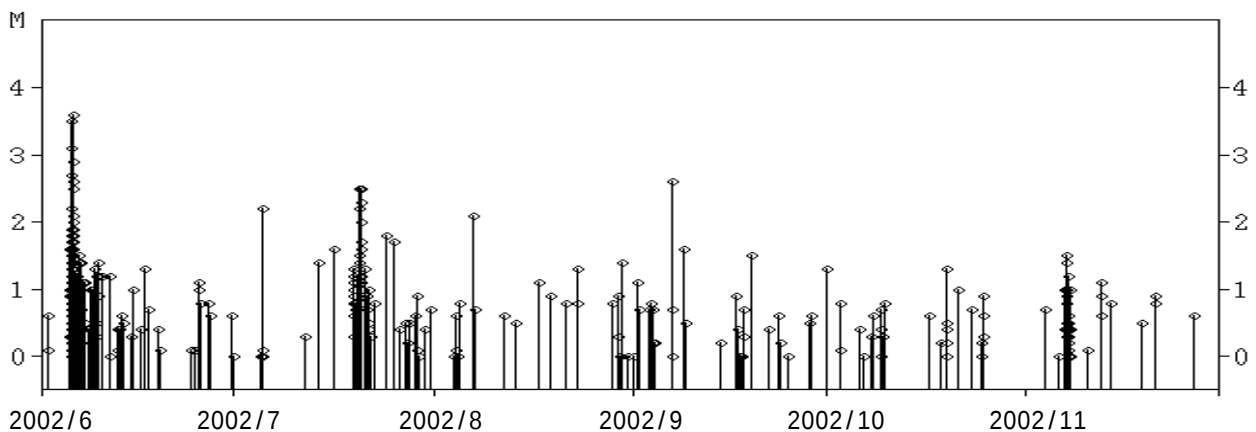


図2 伊豆大島 地震活動経過図（規模別）（2002年6月1日～11月30日）

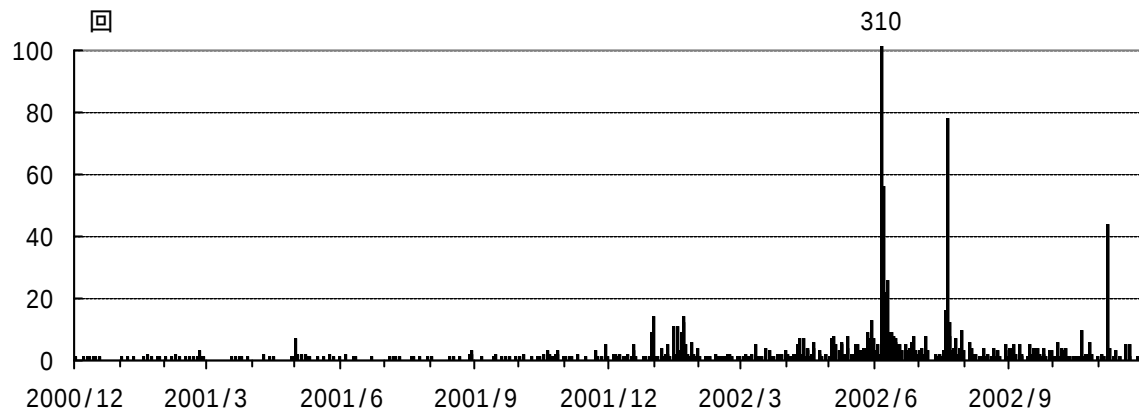


図3 伊豆大島 火山性地震日別回数(2000年12月1日～2002年11月30日)

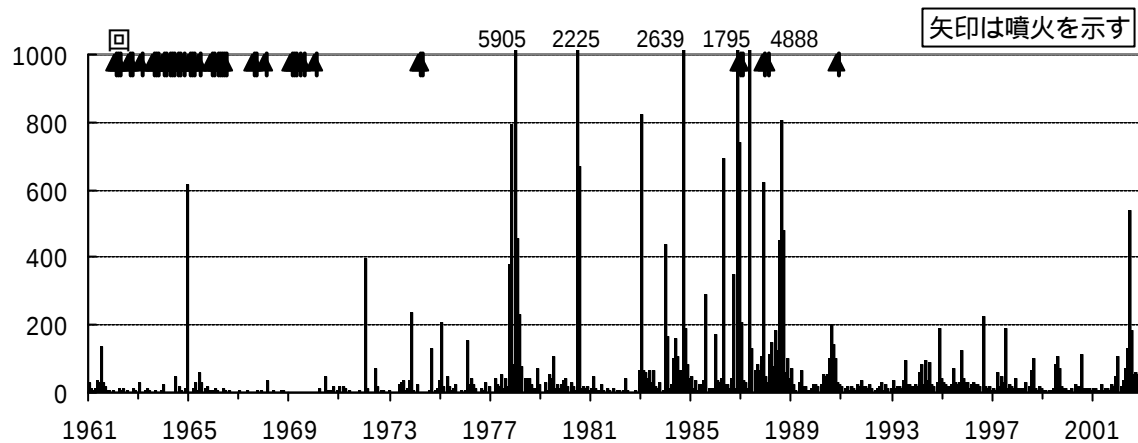


図4 伊豆大島 火山性地震月別回数(1961年1月～2002年11月)

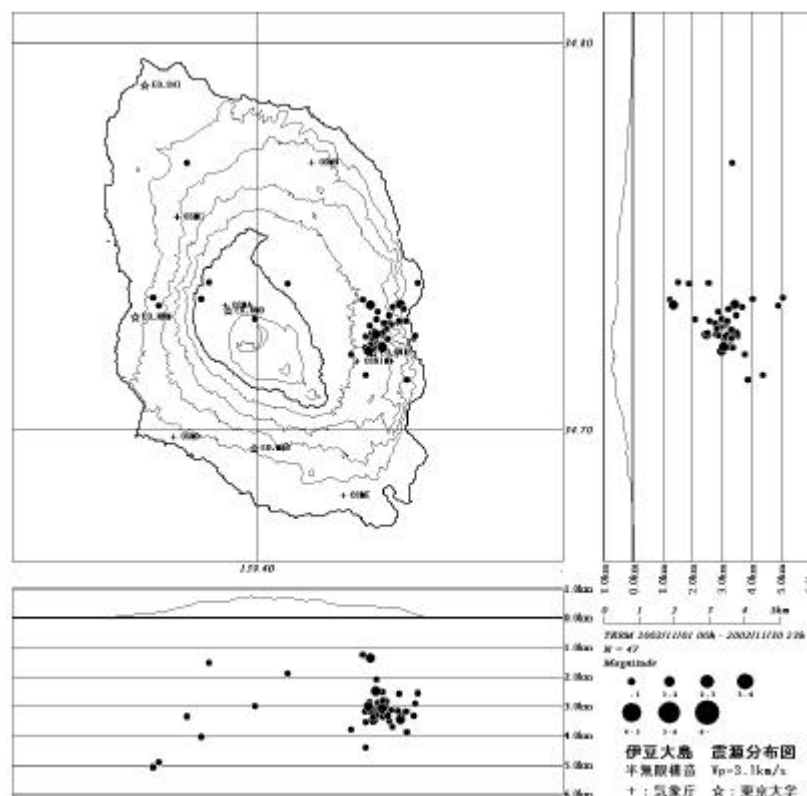


図5 伊豆大島 震源分布図(2002年11月1日~11月30日)

東京大学地震研究所及び気象庁のデータを用いて作成

○ 地殻変動の状況

光波距離計の観測では、長期的な膨張傾向は 2000 年以降停滞していましたが、2002 年 6 月頃から再び膨張する傾向にあります（図 9～10）。GPS でも同様の傾向が見られます（図 6～8）。

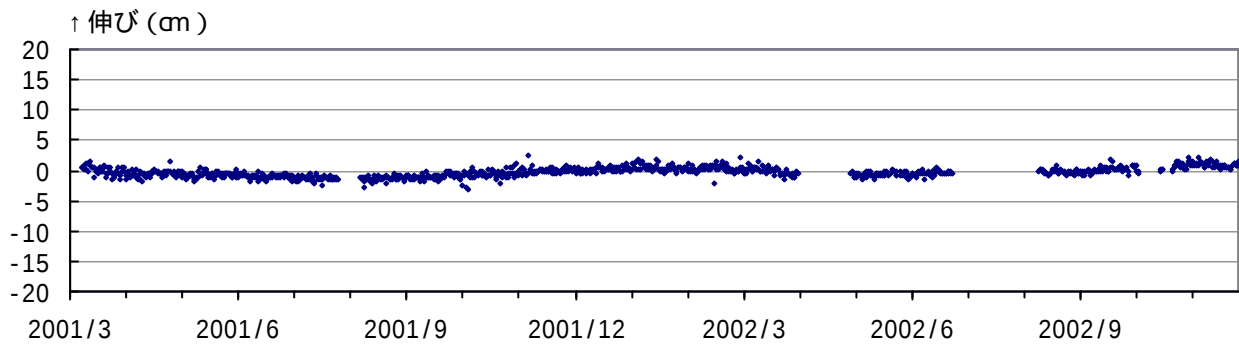


図 6 伊豆大島 GPS 観測結果 (2001 年 3 月 1 日～2002 年 11 月 30 日)
大島北西外輪 - 津倍付 基線長

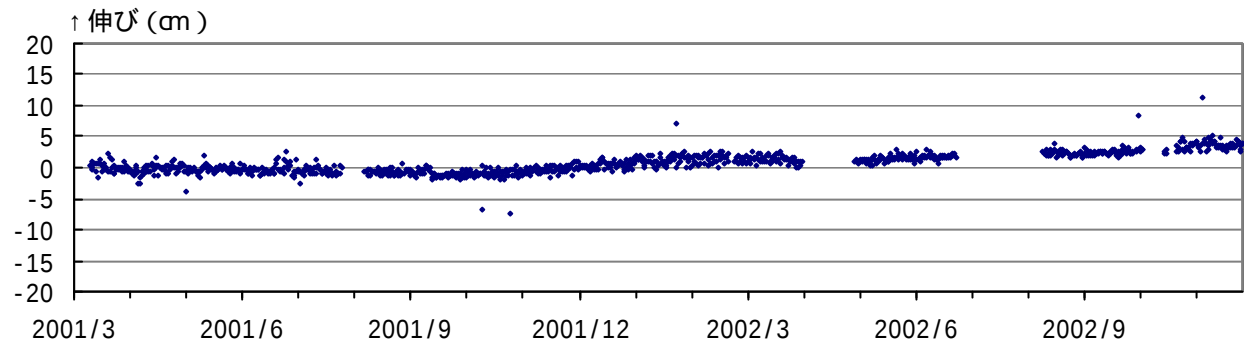


図 7 伊豆大島 GPS 観測結果 (2001 年 3 月 1 日～2002 年 11 月 30 日)
大島北西外輪 - 差木地奥山 基線長

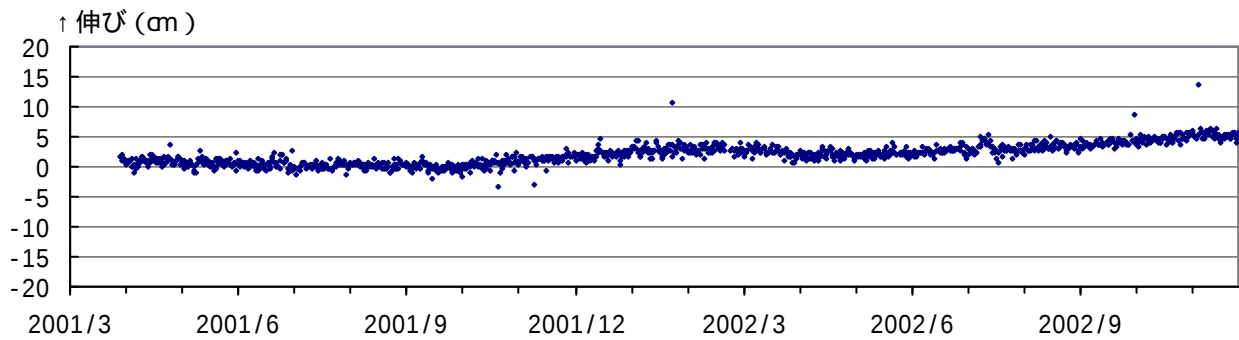


図 8 伊豆大島 GPS 観測結果 (2001 年 3 月 1 日～2002 年 11 月 30 日)
差木地奥山 - 津倍付 基線長



図 9 伊豆大島 光波距離計 斜距離日平均値
(2001 年 3 月 1 日～2002 年 11 月 30 日)

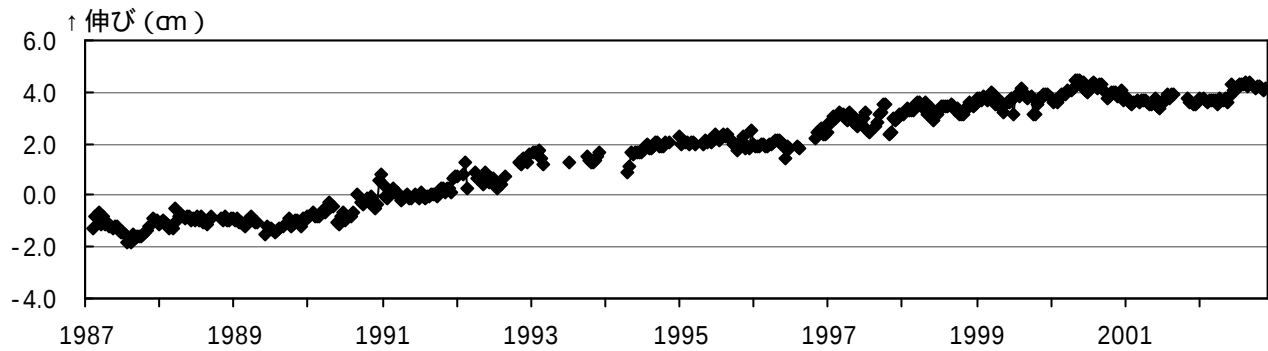


図10 伊豆大島 光波距離計 斜距離旬平均値 (1987年～2002年11月)

○ 噴煙活動の状況

遠望カメラによる観測では、噴煙は観測されませんでした。

